



# 赤目まちづくり委員会・市民センター たきこちゃん通信 7

2021年  
月号

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター)〒518-0465名張市赤目町丈六238-1 電話/FAX63-0329 E-mail/akame-ko@emachi-nabari.jp

## 接種した、見えた、出口が、未来が。

赤目まちづくり委員会 会長 亀本和丈

梅雨期まったただ中の今日この頃、地域皆様方には、ご健勝にてお過ごしのこと、心よりお慶びを申し上げます。

平素はまちづくりを始め市民センターの諸活動に格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼と感謝を申し上げます。

さてコロナウィルスの感染状況であります。早2年が経過しようとして居ります。この間私達名張市地域づくり協議会におきましても感染拡大防止の観点から、あらゆる規制や制約を受け、各地域における行事や活動は中止や延期を余儀なくされているのが現状であります。特に夏まつりや各地の秋祭りでは帰省される地元出身者との会話の楽しみも昔話に思われるかの如く、さみしさとウィルスに対する怒りの毎日ではないでしょうか。しかし目には見えないウィルスという大敵に打ち勝つワクチンにより、初めて暗闇の中に灯りが見え始めました。名張市民の接種状況は他の市区町村に比べても順調に推移していると聞いております。

そのため私達赤目では、先月の通信でもお伝えしました様に竹あかりSDGsプロジェクトを立ち上げました。見通しの立たない暗い世間を少しでも明るく未来を期待する地域住民の希望の灯として、加えて竹の整理いわゆる地元の環境整備を行いながら故郷あかめの竹あかりづくりに、ご理解を賜りご協力をお願いし、元気で明るいまちおこしと合せましてコロナの終末をご祈念申し上げる処であります。しかしいずれに致しましても、今後共一人一人がうつらないうつさないを合言葉とし、地域の皆が一日も早く接種する事を第一とし感染防止対策については、気を緩めることなく手指の消毒、マスク着用はもちろん三密をさける事を心掛け毎日の生活に習慣づける様頑張りましょう。

## 『あかめ竹あかりSDGsプロジェクト』の活動予定

竹あかりの「商品化への体験プログラム」として、小学校・キャンプ場・各区に出前で「竹あかりづくり」を予定しています。詳細については、各区までお申し込みをお願い致します。

＜ 日 時 ＞	＜ 地区・場所など ＞
● 7/3(土)9時半	星川区竹あかりづくり(集会所)
● 7/4(日)9時	一ノ井区竹あかりづくり(一ノ井市民センター)
● 7/18(日)10時	すみれが丘区・相楽区竹あかりづくり (すみれが丘集会所)
● 7/22(木・祝)19時半	「赤目竹あかり夕涼み会」
● 7/25(日)9時半	竹風鈴づくり(市民センター)
● 7/25(日)13時半	柏原区竹あかりづくり(柏原作業所)
● 8/4(水)13時半	錦生赤目小先生竹あかりづくり(小学校図工室)
● 8/18(水)9時半	竹を活用したモニターイベント…公募 市・小学生とその保護者10組(20名) 火おこし・竹飯ごう(赤目滝キャンプ場) 7/25日号 市広報告示・8/5締め切り
● 8/21(土)& 8/22(日) Day キャンプ 10時	竹飯ごう・水鉄砲(赤目滝キャンプ場)
● 9/ 平日予定	錦生赤目小6年生31名・竹あかりづくり(図工室)

※ 9月以後の予定は、次号にてお知らせします。  
予定につきましては、決定次第改めて発表させていただきます。  
よろしくお願い致します。

## 「赤目竹あかり夕涼み会」

東京オリンピック開催予定日の前夜、7月22日全国一斉に「竹あかり」を灯し、日本の「和の精神」で世界へ希望と平和のメッセージを伝えようというプロジェクトの一環で、「竹あかり」と花火で夏の夜をお楽しみ頂く「赤目竹あかり夕涼み会」のご案内を致します。

- ＜開催日＞ 7月22日(木・祝日) 午後7時30分より
- ＜場 所＞ 赤目市民センター(玄関前)
- ＜申 込 み＞ 7月12日(月)までに、赤目市民センターへお申し込みください。

※定員30名になり次第締め切らせていただきます。

- 健康状態や体調を十分考慮して、コロナ感染防止対策・マスク着用でご参加ください。
- 食事・お酒及びカラオケは、提供出来ません。竹あかりと花火・お茶の振興いでお楽しみください。

赤目まちづくり委員会

赤目竹あかりSDGsプロジェクト 電話 63-0329



## 赤目地区・投票所の変更

次期執行される衆議院議員総選挙から、投票所が「赤目市民センター」に変更になります。

名張市選挙管理委員会 TEL.63-7314

名張市指定ゴミ袋取扱、紙おむつ専用ごみ袋(無料交付)  
特大 45リットル 10枚 480円・大 30リットル 10枚 300円・  
中 20リットル 10枚 180円・小 10リットル 10枚 80円  
紙おむつ専用ごみ袋は、対象者一人当たり 30枚以内。

赤目まちづくり委員会  
赤目市民センター  
ホームページ



赤目まちづくり委員会・市民センターの情報がホームページでご覧いただけます。  
※スマホ・携帯電話で左のQRコードを読み取って下さい。  
また市民センターでは、無料Wi-Fiが使用できます。

※『たきこちゃん通信』は、今後赤目まちづくり委員会の地縁法人化に伴い「赤目まちづくり通信」(仮称)と変更予定。



# 皆さん、奮ってご参加ください!!

赤目町の皆様へ

赤目まちづくり委員会 青少年育成部会

## ふうりん 竹風鈴づくり

この度、第1回「竹風鈴づくり」を青少年育成部会で開催致します。

夏休み自由研究、工作に竹の手作り風鈴を作ってみませんか。今は青竹ですが、乾燥してくるとコロ、コロんととってもいい音が鳴ります。夏には涼しさを感じられる音色で、お部屋のインテリアにもピッタリなデザイン・独自作も可。

**大人も子供も Ok。** 「みんな待ってるよ、集まってね！」



- ・開催日 令和3年7月25日(日) 9時半より 赤目市民センター・大会議室
- ・内容 青竹からの風鈴づくり、子供さんでも参加出来る様に、穴を開けたり、切ったりしてすぐに組み立てられるように、材料を用意しています。
- ・受付開始日 竹の準備のため7月16日(金)までに、下記申込書をご記入の上、赤目市民センター(電話 63-0329)にお申し込み下さい。(定員20名で締め切ります。)

赤目市民センター「竹風鈴づくり」に参加を申し込みます。

ふりがな

名前 / (年齢 歳) 男・女

住所 / 電話番号 /



### 不審電話にご注意!!

「お金が戻ってくる」「ATMで還付金を受け取れる」「介護保険の払い戻しがある」などは、還付金詐欺です。知らない人から電話があったら、いったん切り家族・知人、警察などに相談ください。名張警察 62-0110 名張市役所・市民相談室 63-7416

# 7月5日～8月1日までの予定

月	火	水	木	金	土	日
7/5	6	7	8	9	10	11
12	13	14 ふれあいサロン	15	16	17	18 すみれ・相楽区 竹あかりづくり
19	20 	21	22 竹あかり 夕涼み会	23 オリンピック 開催	24	25 竹風鈴づくり 柏原区竹あかり づくり
26	27 市民大学講座	28 ふれあいサロン 忍たま広場	29	30	31	8/1

※赤目市民センターでは、コロナ対策として、検温・マスク着用・消毒・換気、名簿の作成など、3密(密集・密接・密閉)を避けて運営しています。しかしながら状況に応じ、中止・延期になる場合がありますので、ご注意お願い致します。

**※センター主催講座、新年度各サークル紹介の詳細は、今後配布のチラシ・回覧をご覧ください。**

## 8月の行事予定



- ★8/7(土) 赤目なつまつり(中止)
- ★8/11(水)・14(土) こども映写会
- ★8/14(土) 星空観察会
- ★8/19(木) ELP 健康教室・サンサンカレー
- ★8/18(水) 忍たま広場
- ★8/21(土)・22(日) 小学生 Day キャンプ
- ★8/25(水) ふれあいサロン

### 赤目市民センターまつりの開催について

コロナ禍の中、昨年に続き本年も「展示」のみで開催を予定しています。つきましては多くの皆様の出品・展示をお願い致します。実施日 10月30日(土)～11月1日(月)(3日間)

## Vol. 18 歴史散策紀行…「赤目文化遺産」

(各区・地域の名所・名品を募集しています。)

### 未来の灯り、赤目の竹

今、赤目まちづくり委員会では、「赤目竹あかり SDGs プロジェクト」として竹あかりの製作を通じ「竹」の活用に積極的に取り組んでいます。そこで今回は、竹の話しを。

竹の生育域は日本や中国が思い浮かびますが、東南アジアやオーストラリア、中南米、アフリカなどの温暖で湿潤な地域に広く分布し、世界に約1300種、日本には約600種があると言われる。

竹は木と違って、受精しなくても地下茎から毎年筍(タケノコ)が伸びて生育域を広げます。ところが、六十年とも百二十年とも言われる間に一度、竹が花を咲かせ、竹の花が開花すると、群生している竹が一斉に枯れてしまうと云われる。竹はイネ科の植物で、竹の花も稲穂のような姿をしています。

竹取物語をご存知と思いますが、竹から生まれた、かぐや姫はどんどん大きくなり、わずか3ヶ月で美しい娘に成長します、これは単なる昔話ではなく実際の竹の生長スピードを表した話。竹の成長はとても早く、3ヶ月で二十数メートルの高さの親竹と同じ大きさに成長する。また無尽蔵ともいえる竹林に加え、竹の抗菌性や消臭性、癒しの力には無限の可能性を感じる。昔からおにぎりを竹の皮で包んで持ち歩いたり、お肉屋さんの包装材として使われていたのは竹の抗菌性を

利用した先人の知恵。消臭性では、竹を主食とするパンダの糞は無臭です。「竹かんむり」の付く漢字はなんと83もあると言われます。昔日本で鉄が不足していた時代には竹筋コンクリートとして鉄筋の代替に利用されていた。竹炭や竹酢液(ちくさくえき)など、また竹布(タケフ)は、竹からできた天然抗菌竹繊維等まだまだ多くの用途が考えられます。

伊賀地方には、竹が多く茂っていたので藤堂高虎が、産業振興として竹を使う和傘の生産を奨励した。赤目の手すき和紙と共にその後伊賀傘は、日本の大半のシェアを占めるに至った。

10月21日は「あかりの日」で、1879年10月21日にエジソンが日本の京都八幡男山の石清水八幡宮の境内に生えていた「真竹」を使って白熱電球を完成させたことが由来。エジソンは云う、「1%のひらめき」に必要なのが「努力」だと。白熱電球の発明で1万回の失敗が続いた時、友人に語った。「一回も失敗なんかしていないよ。うまくゆかない方法を一万も見つけたんだ。」と。

赤目竹あかり SDGs プロジェクトとしても今後、環境問題が問われる中では無尽蔵ともいえる竹林に加え、竹の抗菌性や消臭性など無限の可能性を秘めた天然資源として竹の機能性を活用する取り組みが、持続可能な開発目標となりそうです。

